【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成16年10月7日(2004.10.7)

【公開番号】特開2001-14311(P2001-14311A)
【公開日】平成13年1月19日(2001.1.19)
【出願番号】特願平11-187753
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　17/22
　Ｇ０６Ｆ　17/27
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　15/20　　５２０Ｎ
　Ｇ０６Ｆ　15/20　　５２０Ｒ
　Ｇ０６Ｆ　15/20　　５５０Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月19日(2003.9.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】文字列表現方法、文字列照合方法、文字列照合装置、文字列認識装置、郵便物区分システム、及び、文字列記録媒体
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ある意味を持つ文字列が、異なる文字列であるが同一の意味を持つ文字列により表現される複数の異表記を持つ文字列の集合を表現する文字列表現方法において、文字列の一部または全部を構成する部分文字列毎に、文字または構文カテゴリの配列を定義し、文字または定義済みの構文カテゴリの配列からなる構文カテゴリにより文字列を表すことを特徴とする文字列表現方法。
【請求項２】
前記文字列を、構文カテゴリが別のどのような文字または構文カテゴリ列に置換されるかを表す置換記号と、ある構文カテゴリが特定の意味を表すことを示す意味記号とを用いて表記することを特徴とする請求項１記載の文字列表現方法。
【請求項３】
入力文字列の部分文字列が、予め与えられた、文字列の一部または全部を構成する部分文字列毎に、文字または構文カテゴリの配列を定義し、文字または定義済みの構文カテゴリの配列からなる構文カテゴリにより表された文字列の１つと一致するか否かを判断することにより、入力文字列の中から文字列を照合することを特徴とする文字列照合方法。
【請求項４】
文字列の一部または全部を構成する部分文字列毎に、文字または構文カテゴリの配列を定義し、文字または定義済みの構文カテゴリの配列からなる構文カテゴリにより表された文字列を記憶する記憶手段と、文字列を入力する入力手段と、前記入力された文字列が前記記憶手段に記憶した文字列であるか否かを照合する手段と、照合の結果を出力する手段と

備えたことを特徴とする文字列照合装置。
【請求項５】
文書の表面の濃淡を電気信号に変換して得られた画像を入力として、文書上に記載されていた文字を読み取る文字読取り手段と、請求項４記載の文字列照合手段とを備え、前記文字列照合手段内の入力手段が前記文字読取り手段からの文字列を入力することを特徴とする文字列認識装置。
【請求項６】
請求項５記載の文字列認識装置を使用し、郵便物の宛名の中の地名の文字列を認識し、郵便物を区分し、または、認識結果を郵便物に印刷することを特徴とする郵便物区分システム。
【請求項７】
ある意味を持つ文字列が、異なる文字列であるが同一の意味を持つ文字列により表現される複数の異表記を持つ文字列のそれぞれを、文字列の一部または全部を構成する部分文字列毎に、文字または構文カテゴリの配列を定義し、文字または定義済みの構文カテゴリの配列からなる構文カテゴリにより表わして記憶したことを特徴とする文字列記録媒体。
【請求項８】
文書の表面の濃淡を電気信号に変換して得られた画像を入力とし、文書上に記載されていた文字を読み取る文字読取り装置において、請求項１記載の表現方法を使用して文字列を記憶する手段と、前記入力画像中の部分画像の配列であって、それぞれの部分画像が前記文字列表現により表わされた文字列の１つに含まれる各文字と類似するものを見い出すことにより文字列を認識する手段と備えたことを特徴とする文字列認識装置。
【請求項９】
ある意味を持つ文字列が、異なる文字列であるが同一の意味を持つ文字列により表現される複数の異表記を持つ文字列の集合を表現する文字列表現方法において、単語または単語の部分からなる部分文字列の生成規則により表現することを特徴とする文字列表現方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、文字列表現方法、文字列照合方法、文字列照合装置、文字列認識装置、郵便物区分システム、及び、文字列記録媒体に係り、特に、文書上に記載された地名等の文字列を読取る装置に使用される地名文字列記憶手段及び照合手段に適用して好適な文字列表現方法、文字列照合方法、文字列照合装置、文字列認識装置、郵便物区分システム、及び、文字列記録媒体に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
従って、本発明の目的は、多様な異表記を認識するのための地名辞書に使用するのための、記憶容量が小さくかつ高速に照合処理ができるような記憶形式を持つ文字列表現方法、文字列照合方法、文字列照合装置、文字列認識装置、郵便物区分システム、及び、文字列記録媒体を提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
【課題を解決するための手段】
本発明によれば前記目的は、ある意味を持つ文字列が、異なる文字列であるが同一の意味を持つ文字列により表現される複数の異表記を持つ文字列の集合を表現する文字列表現方法において、文字列の一部または全部を構成する部分文字列毎に、文字または構文カテゴリの配列を定義し、文字または定義済みの構文カテゴリの配列からなる構文カテゴリにより文字列を表すことにより達成される。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
また、前記目的は、前記文字列を、構文カテゴリが別のどのような文字または構文カテゴリ列に置換されるかを表す置換記号と、ある構文カテゴリが特定の意味を表すことを示す意味記号とを用いて表記することにより達成される。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
また、前記目的は、入力文字列の部分文字列が、予め与えられた、文字列の一部または全部を構成する部分文字列毎に、文字または構文カテゴリの配列を定義し、文字または定義済みの構文カテゴリの配列からなる構文カテゴリにより表された文字列の１つと一致するか否かを判断することにより、入力文字列の中から文字列を照合することにより達成される。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
また、前記目的は、文字列の一部または全部を構成する部分文字列毎に、文字または構文カテゴリの配列を定義し、文字または定義済みの構文カテゴリの配列からなる構文カテゴリにより表された文字列を記憶する記憶手段と、文字列を入力する入力手段と、前記入力された文字列が前記記憶手段に記憶した文字列であるか否かを照合する手段と、照合の結果を出力する手段とを備えたことにより達成される。